

今井城学園通信

社会福祉法人 天使園

児童養護施設
今井城学園

青梅市今井 2-1207-8

発行日 2019年7月

第17号

園長あいさつ

小田川 広明

令和の時代になり、数ヶ月が過ぎました。今井城学園でも子ども達・職員に新たな仲間が加わりました。また、今年度は内部組織を見直し、より良いチームケアが出来る体制としました。

昨今の様々なメディアによる虐待報道が行われています。福祉・医療・教育・警察等の様々な機関のスキルや連携が問われています。今井城学園では、6月の職員会議にて児童憲章を再度確認いたしました。日頃、忙しい日常業務の中で子どもの養育の根本を置き去りにしてしまっているのではないのでしょうか。以下に、児童憲章の前文を記載します。

我らは、日本国憲法の精神に従い、児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかるため、この憲章定める。

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。

この後に12項目の条文が続きますが、始まりはすべて「すべての児童は……」となっています。法令等を制定するだけでなく、今一度立ち止まり、「養育とは何か」「すべての子どもたちの最善の利益とは何か」を考えていきたいと思えます。令和元年度もよろしくお願いいたします。

学園紹介シリーズ

「自立支援コーディネーターとして」

自立支援コーディネーター 矢野敏光

今年度から自立支援コーディネーターとして、卒園生・退園生の児童を対象に少しでも支援に繋がる役割として活動を行っています。

「自立」とは何か？施設児童は、卒園・退園して行った時に一人暮らしを余儀なくされる状況に置かれます。右も左も分からない状態で社会に出た時、迷ったり・困ったりする場面が必ず訪れると思えます。そんな時、解決出来る力が身に付く事によって、自立に繋がっていくのではないかと思います。解決する方法は様々です。

「自分一人で解決出来る力」「親友・友人・知人の力を借りる」「相談出来る力」等、迷ったり、困ったり、時には失敗してしまった時に、解決方法を選択して解決出来た時に自立と言う力が付いていくのではないかと思います。

東京都にある児童養護施設でも、殆どの施設に自立支援コーディネーターの職員が配置されており、日々、多くの職員がアフターケアをしています。「自立支援コーディネーター」として専門職の役割が明確化され、どの施設を卒園・退園しても同じ支援が出来る様に、専門職が集まり、勉強会や情報交換等を行い、社会に出た児童へのアフターケアに力を入れています。

卒園・退園して行った児童が、少しでも安心できる様な支援を行っていき、今井城学園が児童の支えになれる様な所になっていければ良いと思っております。

子どもを支える。

今井城学園 養護主任 今井 紀充

今年度、今井城学園には直接支援に関わる主任が3名体制となりました。本園に2名、グループホームに1名という形で配置されています。また同じく今年度から、本園にも2名の副主任が配置されました。

主任という立場になると、後輩職員からの相談なども日々多くなります。そういった時は、自宅に帰ると、「あの答えで良かったのかな?」「もっと違う返答を待っていたのかな?」と思いついて、落ち込んでいる毎日です(本当です!)

学園職員も「これで良い。」と成長を止めずに、「これで良い?」と疑問も持ちながら、少しでも子ども達への支援を良くしていこうと施設内外を問わずに研修などに参加させてもらっています。

子ども達の生活は施設だけではありません。学校や友達、地域の方々とのふれあいも大切な成長の場所です。施設では見せない顔をきつと見せている事だと思います。地域の方々のご理解を得ている事も学園の大切な強みです。

学園では子ども達に関わる事を「支援」と言います。「支える、援助する。」とは、大人から子どもへ、先輩から後輩へという一方向の流れではなく、双方向の流れなのだと考えます。同様に、地域の皆様からの施設への気付きなども大切な「支援」であります。また施設から地域の皆様へ、何か貢献できる事がないかとも思います。

これからも職員、子ども、そして地域の皆様に支えて頂きながら、より良い施設になるように努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

職員リレーコラム その17

初めまして。青梅市新町にあるグループホーム(GH)で働いている安間と申します。GHでは本園とは違い一軒家に近い見目の中で、より家庭的な養護という事を目標に生活しています。

男児3名、女児3名が生活しているので、もちろん喧嘩は沢山あり、その分笑い声も負けないぐらいに溢れています。うるさくなりすぎてしまう事が多々ありますが、地域の方々にご理解とご協力を頂いており感謝の限りです。

個性豊かなメンバーがそろったGHみずがきですが、楽しい事だけでなく悔しい事も困った事も大変な事も全て皆と共有しながら過ごしていきたいと思っています。

宜しく願い致します。



初めまして。本園2階カーネーションホールで勤務している小林と申します。

カーネーションホールでは、幼児3名、小学生1名、中学生2名、高校生1名の年齢も個性もバラバラなメンバーが、毎日助け合いながら生活しています。

本園は幼児が多く、大変だと感じる事も多いですが、その分成長を感じる瞬間もたくさんあります。お喋りが上手になった、自分の名前が書ける様になった、脱いだ洋服を畳める様になった……

1年前、半年前、この前、出来なかった事が出来る様になった時の感動がとても大きいです。

これからも、子どもたちの成長にパワーを貰い、自分自身も子どもたちと共に成長していきたいと思えます。

宜しく願い致します。



ほっとファミリー

ファミリーソーシャルワーカー 大沼 孝江

今井城学園に勤めて22年目になります。ここ数年はグループホームの主任という立場で、4つあるグループホームを中心に仕事をしていましたが、今年度から本園の主任と共に「ファミリーソーシャルワーカー（FSW）」という役割も担うことになりました。

ファミリーソーシャルワーカー（家庭支援専門相談員）とは…児童相談所と連携して家庭環境上の理由で施設に入所している子どもの保護者との連絡調整をし、親子関係の再構築を図れるよう支援する役割や施設を退所した後の子どもの相談対応、地域の関係機関との連絡・調整等を担う役割があります。

私が勤め始めた頃にはその様な役職はなく、保育士・指導員と呼ばれる子ども達に直接関わる職員と経験年数に応じた主任・副主任が置かれていただけでしたが、施設の小規模化や社会的養護の必要性が高まるに連れて、全国の児童養護施設に心理職や精神科医（嘱託医）、家庭支援専門相談員、自立支援コーディネーター等の専門職が置かれたり、今井城学園では独自に学習指導員を配置し、よりきめ細かい支援が出来る様に変化してきました。

児童養護施設における課題は20年前の入職した頃と比較するとかなり複雑化してきています。昔は非行・暴力と言った目に見える形の問題が多かったように思いますが、今は心の問題、個々の抱える能力や課題など目に見えないことの方が多く、より専門性・多方面からの見立てやアプローチが必要になってきた様に感じています。

今井城学園が子育てに悩む地域の方々にとって気軽に相談したり、問題を共有できる場になり、少しでも地域の中で困っている子ども達・保護者の力になれる様、今後も職員一丸となり取り組んで行きたいと思えます。

こころの窓

心理士 稲田 惟広

はじめまして。私は今井城学園で週に2日、非常勤心理士として勤めています。こちらのコラムはこれまで常勤心理士が担当してきました。今回初めて、非常勤心理士が担当することとなりましたので、改めて、学園の心理士の役割について、常勤と非常勤の違いに触れつつご紹介していきたいと思えます。

現在、今井城学園には常勤心理士が1名、非常勤心理士が3名という割合で在職しています。常勤心理士は週に5日、非常勤心理士はそれぞれ割り当てられた曜日で週に1日～3日出勤しており、互いの就業時間を半日(4時間)ほどずらす等して、1日、或いは1週間の中で、子どもたちと職員を支援する時間を無駄なく確保出来るよう工夫しています。

心理士としての基本業務は、①入所児童に対する個別の心理療法、②生活場面面接(日常生活の様子から子どもたちを理解する)、③職員とのコンサルテーション(主にケアワーカーと、子どもたちの支援について心理学的視点から提案する)が、主となります。常勤心理士はこれらに加えて、日々行われる各種会議や対外対応に携わる機会が多く、より広い視点を持って、今井城学園における恒常的な心理支援の幹を担っています。その一方で、日数が限られている非常勤心理士は、基本業務により注力して支援を行うこととなります(必要に応じて対外対応も担当しています)。

非常勤心理士は出勤日数が少ないため、それによる難しさも時に生じます。ただ、私個人としては、必ずしもデメリットばかりではないように思っています。その距離感があることで、「学園」という生活圏から少し離れた立ち位置が保たれやすく、「日常で話づらいこと」を扱う上で、子どもたちの話し易さに寄与する部分もあるのではないのでしょうか。

さて、そろそろ紙面の都合が近づいてきました。それぞれの心理士は互いの働き方や立場を尊重し合い、連携を取りながら支援にあたっています。その役割を果たせるよう、日々研鑽し努めていく……そんな思いを新たにしつつ、今回はここまでにしたいと思います。

レッツ・クッキング

栄養士 原口 康子

春から初夏にかけてトマトのおいしい季節がやってきました。暑いときには嬉しい一品、冷やしトマト！食欲が落ちていても、これなら食べられませんか？トマトには最近よく耳にする「リコピン（食物が持つ色素のひとつ）」が含まれていて、抗酸化作用が強いと言われています。これにより、がんや高血圧といった生活習慣病予防や老化防止にも効果があると言われています。トマトを加熱して食べる事って皆さんはありますか？加熱することで、吸収力 UP!! の効果もあるそうです。（油を加えることで、より UP）

トマトが安く手に入るこの時期、思い切って加熱したトマト料理を作ってみてはいかがでしょうか？学園では定番となっている「ガーリックライス・トマトソース」を今回はご紹介したいと思います。（と言いましても何かのレシピ集に載っていたものを少しアレンジしたのですが・・・）

【材料】4人分

お米	2.5合	トマト	中3個
いんげん	75g	玉葱	1/4個
にんにく	1 1/2片	にんにく	1/3片
オリーブ油	大1 1/3杯	オリーブ油	小2強
バター	小1強	ローリエ	1/2枚
塩	小2/3杯	ベーコン	2枚
こしょう	適量	キャップ	大3 2/3杯
		塩	小1/5杯
		こしょう	適量
		砂糖	小2/3杯
		●オリーブ油	小1強

【作り方】

①ガーリックライス

にんにくみじん切り、いんげん下茹で0.5cm幅カット。オリーブ油とバターを合わせたフライパンににんにくを入れ、香りをだし、炊いたご飯を入れて炒める。いんげんは最後に混ぜ味を付ける。

②トマトソース

玉葱・にんにくみじん切り/トマト角切り（種も使用）/ベーコン1cm幅カット
オリーブ油とにんにくをフライパンに入れ火を付け、香りが出てきたら玉葱を入れ炒める。玉葱が透き通ってきたらベーコンを入れトマト・ローリエを入れる。5分程煮たら、塩・砂糖こしょうを入れ、味を調える。
仕上げに●オリーブ油を入れ完成！



トマトの酸味が強いときは砂糖増OK

知的好奇心



学習指導員 高瀬 博行

学習指導の高瀬です。本年4月より勤務しています。宜しくお願いします。

これまで会社で電子部品の開発・生産に従事し、その後学校で、その分野について教えて来ましたが、学生時代に勉強したのは物理です。宇宙って本当は何なのだろう、物質は究極何から出来ているのかを知りたいと思ってです。

宇宙や素粒子の分野では、今も新しい発見や理論が出されていますが、人間の知的好奇心の凄さには圧倒されます。

そんな知的好奇心は誰もが持っているものです。色んな事が解るようになるということは、本当に嬉しいことです。勉強をしたい、いろんな事を考えたいと本来思っています。しかし、試験の勉強をしないといかないとか、自分で考えていて分からないとかの理由で、その純粋な気持ちが萎えてしまうことも多いです。学習指導員という立場で、知的好奇心を満たしてあげたり、勉学のサポートを行い、少しでも改善が出来ればと思っています。そのことが、喜びを生み、自信にもなり、子供たちの成長の一助になるとと思っています。微力ですが、子供たちに寄り添い、頑張っていきます。

編集後記 おかげさまで「今井城学園通信」第17号を発行することができました。この通信を通じて、今井城学園を地域の皆様に広く知って、職員の持つ専門知識が皆さまの生活に少しでもお役に立てればと願っています。記事の内容に関して、ご質問、ご要望等がございましたら、下記の連絡先まで遠慮なくご連絡ください。（編集委員）

今井城学園 電話 0428-31-2277

E-mail: info@imaijyo.or.jp

ホームページ <http://www.imaijyo.or.jp>